

## 現場を見る 久本組・日野建設工業JV

2015/9/10 大阪版 掲載記事より

3-2系水処理施設の増設に伴う本体築造工は今後、工期末に向けて躯体構築工の仕上げ段階に入り、防水・防食工や場内管路のダクタイル管据え付けが施工のメインとなる。8月末時点の進捗率は約70・7%。

躯体構築工ではコンクリートを約7000万立方メートル使用しているが、2014年12月の厳冬期から打設をはじめ、酷暑の続くことしの夏場まで気候は大きく異なったため、品質管理には細心の注意を払った。本社施工支援室のコンクリート主任技師立会いの下でコンクリート打設を行った。また、全台数でのスランプ試験、公的機関による検査を50立方メートルに1回の割合で実施するなど通常求められる約3倍の費用と手間を掛けている。

山下剛一所長は「当社のISO品質方針である『最高の品質 最高のサービス 絶対の信頼』の実現には必要不可欠なこと。みんなで努力して、いいものを後世に残していきたい」と胸を張る。

安全に関しては、当初に設定した9万7120時間から12万時間に変更し、無事故・無災害を継続している。新規入場者教育では紙による説明ではなく、パワーポイントを使って少しでも分かりやすく、興味を持ってもらえるよう工夫をしている。安全教育では、いらなくなった安全靴を分解して構造を説明、ヘルメットに鉄筋を落下させての実験などを行い、より高い安全への意識付けの徹底を図っている。

山下所長は、今池水みらいセンター安全協会の会長を務めており、同センター敷地内で工事を進めている六つの現場の調整を図っている。「出入口の管理など計画作りには苦労しているが、地元の皆さんに迷惑をかけないことが大切」と笑顔で話す。

### 概要

▽工事名—大和川下流域下水道今池水みらいセンター水処理施設（3-2系）築造工事その2▽発注者—大阪府南部流域下水道事務所▽場所—松原市天美西7丁目▽工期—2013年10月25日～16年2月29日▽工事概要—水処理能力6万8000立方メートル/日（最初沈殿池）、本体作業土工一式、本体仮設工一式、本体築造工一式、場内管路工一式▽**久本組・日野建設工業JV**今池水みらい作業所（JV職員、敬称略）—現場代理人・監理技術者＝山下剛一、主任技術者＝船越則孝、担当技術者＝瀬川和央、木村亮太、久保准治、川田渉、事務担当＝島袋安代



山下剛一所長